

# 運輸区 第四十七号



他には  
急に走  
り出す子  
供たち、耳  
や目、足の

不自由な人たち・・・決して自己責任だけの問題ではありません。鉄道会社は先頭に立ち、自治体や国と連携を取り、様々な利用状況を踏まえた上で、改善を進める義務があります。

### 現時点で出来ることは？

確かに警報機、遮断機の設置には1500～3000万という膨大な費用がかかり、そう簡単にはいかないことも分かります。どうしても利用頻度の高い順に考えると、廃止対象が出て来るのも仕方のないことかもしれませんが、勿論、その場合においてもまずは地域住民との議論が必要です。警報機のみでの設置で、第3種となった例も数多くあります。また他鉄道会社では「簡易ゲート」（普段は人が通れないように、バーが降りていて、通行人が自分で安全確認後、手で押し上げて通るもの。我が社の電留線等であるようなもの）の設置を進めているようです。

また、運転士にはその箇所が近づいたら、汽笛吹鳴を義務付けているところもあるそうです。

のんびりしていた時代の過去の産物は、現在非常に危険なものに変わってしまっています。皆で考え、不幸な事故を失くしましょう！！

## なくせ！第4種踏切！

### 現状放置するな！

JR会社も含め、全国で2700箇所以上も存在し続けている第4種踏切は、警報機も遮断機もなく、そこを渡る人が自分の目と耳だけで確認しなければならず、悲惨な事故が後を絶ちません。殆どが地域住民に必要な

買い物や農作業、通学等で、決まった時間にそこを通る人は「この時間は列車は来ない」と、ほんの一瞬を緩めただけで、その日に限ってダイヤ乱れで、ピンポイントで不幸に遭われてしまう・・・そういうパターンも多いのではないのでしょうか。

## うたてつ ノススメ 35

### 地下鉄ファンタジア (キューピット) 1979年4月

ドアが閉まって 電車は走り出す  
駅に残ったあなたは 手も振らぬ  
それもしかたない しょうがない  
何も無い  
恋は終点で 全てをはき出した  
地下鉄ファンタジア  
走り去る石の壁  
思い出をキラキラと  
映し出す窓ガラス  
地下鉄ファンタジア  
捨てられた恋なのに  
不思議にも私には 美しく見えた  
何処で下りればいいのか  
何処で降りればいいのか Ah・・・

駅は過ぎずに 現われ消えていく  
ひとり私は 電車に身をまかせ  
胸はがらんどろ 何もかも  
置いてきた  
闇に溶けていく 私にふさわしい  
地下鉄ファンタジア  
切り替わるアラバスク  
思い出をゴーゴーと  
打ち砕く鉄の道  
地下鉄ファンタジア  
このまんま地の果てに  
起きていく胸騒ぎ またひとつ涙  
何処で降りればいいのか  
何処で降りればいいのか Ah・・・

ちょっとマイナー過ぎるかなと掲載をためらったが、絶対の自信を持ってお勧め出来るので、何処かで見つけて聴いてほしい、是非！！ピンクレディフォロアのひとつで双子の姉妹デュオ。テレビにも良く出てた。作詞は伊藤アキラ、作曲編曲は荻田光雄。まず特筆すべきは、地下鉄の騒々しさ、めまぐるしさなどを電子音で表現したアレンジ！さすがだ。詞の方もかなり良く出来てる。起伏の少ないメロディと共に坦々と歌っていく情景だが、失恋の歌なのに悲しさ、辛さ、くやしきなどそれほど感じられず、サラッとしている。諦めきれぬ明確な？理由があったんだね。「しょうがない、もうどうでもいい」と、吹っ切れた感じ？ただ「このあとどうしたらいいのか」という不安だけは残っている。「思い出をキラキラと映し出す窓ガラス」2番の「思い出をゴーゴーと打ち砕く鉄の道」は秀逸！！地下鉄に乗ってる感じを上手く表現している。全体で詞と曲がバッチリ合った。地下鉄を舞台にした歌は他に「地下鉄ののって」（拓郎、猫）や「サブウェイ急行」（永ちゃん）等がある。